

[プレスリリース]

2018/10/26

小野祐次

Vice Versa – Les Tableaux 逆も真なり – 絵画頌

2018年12月12日(水) – 2019年2月2日(土)



小野祐次, *Impression, Soleil Levant, Claude Monet*, 2014, Gelatin silver print, 89.5×112.5cm, ed.12

写真を始めてから、パリへ渡ったときから、あの街で絵画という宝の山を目の前にしたときから、いつの日か芸術の先達たるこの絵画を、二次元の表現媒体としての絵画を、同じ二次元たる写真へ還元できることを夢みていた。

誠実であること。すでにここ(絵画)には表現が在り、だから尚更に自らは表現しないことで成立させるのだ。

限りなくゼロに戻すこと。絵画も写真も「すでにそこに在る光」のもとでは同等でありその下僕なのだ。それはこの我が身も同様だ。

小野祐次

シュウゴアーツは2018年12月12日（水）から2019年2月2日（土）まで、小野祐次の個展「Vice Versa – Les Tableaux 逆も真なりー絵画頌」を開催いたします。

本展覧会は、小野が1995年に着手して以来撮影を重ねてきたタブロー(Tableaux)シリーズの最近の成果までを披露する12年ぶり（東京では14年ぶり）の個展となります。

タブローシリーズは、ルネサンスから印象派までの絵画を被写体に、美術館に注ぎ込む自然光や微かな蠟燭の明るさの元で、「可能な限り時間を遡り、当時の画家たちと同じ条件に身を置いて」撮影することを徹底して行っています。そこに現れるのはオリジナルの絵画とはかけ離れた、判然としないイメージです。時に本来脇役であるはずの額装が主役になり、絵画の掛けられた空間や空気そのものまでが取り込まれ、小野が被写体と対峙した時間が集積となって静かに現前しています。

人工の光が登場する以前の画家たちの作品から、アトリエの外に出て大気や光、時間の移ろいをキャンバスに捉えようとした印象派の画家たちの作品まで、16世紀から18世紀にかけての絵画をモチーフに、写真芸術家としての小野は、写真でしか成し得ない表現を長年追い求めてきました。印象派誕生以前の19世紀に、当時の写実絵画の画家たちにその地位を奪われ取って代わられるという危機感を抱かせた写真という技法。小野はこのタブローシリーズによって、絵画史と写真史の歴史的な交差を作品化するという壮大な物語を実現しているように思われます。

小野の「光」に対する考え方は、もうひとつの仕事であるルミネンスシリーズ（2005～）との対比において顕著に感じることができます。ヨーロッパの歴史的な宮殿や城などに吊り下げられているシャンデリアを撮り続けているこのシリーズでは、より厳密にはシャンデリアそのものではなく、それを形作っているクリスタルの連なりに照明を当て、光の集合体を印画紙に捉えています。全く異なる光の扱い方をしたこの二つのシリーズが現在の小野の仕事の核となっています。

タブローシリーズについて小野はこのように述べています。

「技術を駆使すれば、もしくは単純に角度を変えれば、似たような凡庸な結果は得られるかもしれない。しかしそれではちっとも楽しくないです。画家たちの尊厳、絵画のオマージュ、そして写真が誕生した瞬間から一枚の紙の表裏のごとく写真と絵画の愛憎をもう一度見つめ直すには」

「光が描き出した"もうひとつの絵画"」と言えるこのシリーズは、小野が敬愛する画家たちと時代を超えて交歓した証でもあり、また絵画史に対する一撃とでも言うべき行為とその結果と言えるのではないでしょうか。小野祐次のタブローシリーズによる個展「Vice Versa – Les Tableaux 逆も真なりー絵画頌」を貴媒体にてご喧伝頂ければ幸甚です。

最後に、小野祐次の12年間の沈黙を経て、シュウゴアーツが今個展の機会を得たことは大変光栄なことと思っております。小野さんを始め、今展の実現までの過程でお世話になった皆様方に厚く御礼を申し上げます。



小野祐次, *Paesaggio lacustre conpastore? Anonimo (De Heusch Willem?)*
2001, Gelatin silver print, 112.5×89.5cm, ed.12

小野祐次は1963年福岡県生まれ。パリ在住。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。

主な個展に2000年「消える名画」ツァイト・フォト・サロン（東京）、2004年「ルミネセンス」ツァイト・フォト・サロン（東京）、2005年アルル国際写真フェスティバル（招待作家）、2006年パリ市立写真美術館（パリ）。

主なグループ展に2000年「現代日本写真家展」上海三亞撮影画廊（上海）、2001年「オフ・トリエンナーレ展」留日廣東會館（横浜）、2002年「4人の日本人アーティストによる現代写真展」ラトヴィア写真美術館（ラトヴィア）、2003年「マスク・オブ・ジャパン」アウラギャラリー（上海）、2004年「マスク・オブ・ジャパン」広東美術館（広州）、「フェイス・トゥー・フェイス展」アウラギャラリー（上海）、2005年「石原コレクション展」上海美術館（上海）2006年「光と影展」東京都写真美術館（東京）。

小野祐次 各シリーズのステートメントをシュウゴアーツのウェブサイトにてご覧いただけます。

◎Tableaux タブロー

http://shugoarts.com/wpdir/wp-content/uploads/2018/10/ono_Tableaux_statement_jp.pdf

◎Luminescence ルミネンス

http://shugoarts.com/wpdir/wp-content/uploads/2018/10/ono_Luminescence_statement_jp.pdf

展覧会概要

展覧会名: Vice Versa – Les Tableaux 逆も真なり – 絵画頌

作家名: 小野祐次

会期: 2018年12月12日(水) – 2019年2月2日(土) *冬季休廊: 12月28日(金) – 1月7日(月)

会場: シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木6丁目5番24号 complex665 2F

開廊時間: 火~土曜 午前11時 – 午後7時 (日月祝休廊)

オープニングパーティー: 12月12日(水) 午後6時45分より (トーク終了後より開始)

小野祐次「Vice Versa – Les Tableaux」開催記念アーティストトーク

スペシャルゲスト 青柳正規 (東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長)

12月12日(水) 午後5時30分 – 午後7時

会場: シュウゴアーツ、入場無料

予約制: event@shugoarts.com まで、ご参加人数、参加者全員のお名前、代表者のご連絡先をお知らせください。

追って担当者より確認のメールを差し上げます。定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。



小野祐次, *Ritratto di Enrico VIII(Henry VIII)*, Hans Holbein
2001, Gelatin silver print, 112.5×89.5cm, ed.12

シュウゴアーツ ShugoArts

106-0032 東京都港区六本木6丁目5番24号 complex665 2F <http://shugoarts.com>

掲載用画像の貸出し・お問い合わせ プレス担当: 小澤樹生 / 03-6447-2234 / nayuta@shugoarts.com